

年度 2009 学期 前期	曜日・校時	火・3	火・4	必修選択	必修	単位数	1
授業科目/(英語名)	中国語Ⅲ (ChineseⅢ)						
対象年次	2年次	講義形態	講義	教室			
対象学生(クラス等)	火・3:2T二、火・4:2T四			科目分類	外国語科目(中国語)		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員:陳 振華/ Eメールアドレス: chzh@hotmail.com/ 研究室:非常勤講師控室/ TEL:080-3224-9558/ オフィスアワー:16:00~18:00							
担当教員(オムニバス科目等)							
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 授業のねらい:中国語の単語や文法などを更に習得し、中国語の日常生活の会話をやや流暢に出来るレベルに達し、やや難しい中国語文が読め、中国の文化を理解できる。  授業方法:テキストには新出単語と関連単語が多くて、授業の前に予習、暗記しなければ、授業は進められないので、ちゃんと予習してください、また文法と本文も予習する必要がある。語学の勉強には文法を理解する以外、主に実際のトレーニングをする。従って、この授業は習った語句、文法を活用できるために、その場で中国語を作文させ、本文を繰り返して朗読する上で、本文を暗誦してもらおう。習った中国語の語句、文法を用いて、学生に中国語で日常会話をさせる。中国語の語学力を固めるために、時々小テストを行い、宿題もやってもらおう。  授業到達目標:この授業を通して、中国語の話す、聞く、書く、読むなどの総合的な中国語の基本語学力を養成し、中国語の中級初段階のレベルに達する。							
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 授業内容(概要) テキストは大学生の生活を想定して編集したもので、本文と会話文の学習を通して、方向補語と様態補語の構造、使い方を学び、助動詞、複合文などの意味、使い方を勉強する。更に習ったものを活用して学生に中国語の会話を練習させる。  第1回 第一課 上学 ポイント:疑問詞“怎么”を使った疑問文、“是……的”構文、連動文 第2回 第一課 上学 本文 練習問題 第3回 第二課 四季 ポイント:助動詞の“会”“能”“可以”、接続詞“虽然……但是……”、 第4回 第二課 四季 副詞の連用“又……又……” 第5回 第二課 四季 本文 練習問題 第6回 第三課 一日游 ポイント:様態補語、助詞“的”、語気助詞“的” 第7回 第三課 一日游 本文 練習問題 第8回 復習 第9回 第四課 愿望 ポイント:動作の進行を表す文、「ちょっと」の表現(1)“有点儿”と“一点儿” 第10回 第四課 愿望 本文 練習問題 第11回 第五課 暑假 ポイント:単純方向補語、複合方向補語 第12回 第五課 暑假 アスペクト助詞“着” 本文 第13回 第五課 暑假 練習問題 閲読練習 第14回 復習 第15回 全授業の総括(試験含む)							
キーワード							
教科書・教材・参考書	『実用中国語 10課2』 劉 愛莉 連 清吉 高 季文 王 桂紅 著 (白帝社)						
成績評価の方法・基準等	授業への参加状況と平素の学習態度 20%、宿題と小テスト 20%、定期試験 60%						
受講要件(履修条件)	履修上の注意:単位を取得するのは定期試験、宿題と小テストの成績の次第だけではない、出席も見るので、無断欠席しないでください。						
本科目の位置づけ/学習・教育目標							
備考(準備学習等)							